

# 2017年度 事業報告書

(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

2018年10月15日

公益財団法人 SBS 鎌田財団

# 目次

<b>I. 事業</b>	頁
<b>法人の目的と概況</b>	2
<b>1. 事業活動</b>	
1.1 研究助成事業	3
1.2 奨学支援金制度	4
1.3 次度事業予定	5
<b>2. 情報公開</b>	
2.1 情報掲出等	6
2.2 刊行物	7
<b>II. 管理・運営</b>	
1. 理事に関する事項	8
2. 評議員に関する事項	8
3. 監事に関する事項	8
4. 選考委員に関する事項	8-9
5. 会議に関する事項	9-10
6. 内閣府への届け出等に関する事項	10
7. 寄附に関する事項	10
<b>III. 会計報告</b>	
1. 貸借対照表	12
2. 正味財産増減計算書	13
3. 正味財産増減計算書内訳表	14
4. 財産目録	15
5. 財務諸表に対する注記	16
6. 付属明細書	16
<b>IV. 監査報告</b>	
1. 監査報告書	18

## I. 事業

### 法人の目的と概況

#### ■法人の目的

この法人は、以下に掲げる事業を通じて、わが国社会の学術および産業の振興・発展と福祉ならびに文化の向上に資することを目的とする。

- (1) 物流の振興・発展に資する学術研究に対する助成
- (2) 物流の振興・発展に資する研究集会、シンポジウム、セミナー等の開催に対する助成
- (3) 学生・生徒に対する奨学金の給付
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### ◇事業の趣旨(目的)

##### ・研究助成

物流分野の振興・発展に資する学術研究に対する助成、同分野における研究集会、シンポジウム、セミナー等開催に対する助成を通じて、当分野の学術および産業の振興・発展をもって産業全体の発展と国民生活の向上に寄与することによる社会貢献を目的とする。

##### ・奨学支援金制度

意欲と能力のある学生等が経済的理由により修学を断念することがないよう、学生本人に対して奨学金の給付を行い、教育の機会均等及び人材の育成に寄与し、教育と福祉の向上に貢献する。

#### ■2017年度概況

##### ◇財団の運営状況

2017年度は、運営上特記すべき事象などはなく、おおむね当初の計画に従い事業が遂行できた。詳細はⅡ管理・運営の項を参照の事。

##### ◇事業活動

##### ・研究助成

10件の応募があり、2月に開催した選考委員会において7件を採択した。

##### ・奨学支援金制度

当年度より奨学支援金制度(社会的養護を受ける児童への進学支援)を開始した。応募数は49件。3月の選考委員会で審査後、4月の奨学金承認理事会において30名の採用を決定した。当該採用数は当初予定数の3倍にあたる。

## 1. 事業活動

### 1.1 研究助成事業

#### 1.1.1 助成件数と助成額

2017年度の研究助成の新規採択案は、平成30年2月27日に開かれた理事会で承認された。件数と金額の内訳を表1に示す。

表1. 2017年度研究助成(新規および継続)一覧

プログラム	応募件数	助成件数(件)			助成金額(千円)		
		新規	継続	合計	新規	継続	合計
物流研究助成	10	7	0	7	3,300		3,300

#### 1.1.2 採択助成研究一覧

2017年度の研究助成における採択された研究は以下の表2に示す。

表2. 2017年度助成研究一覧

No	氏名(職位) 所属機関	研究課題	助成金額 (千円)
1	丹下 博文(教授) 愛知学院大学 経営学部	物流業へのワーク・ライフ・バランスの導入と普及に関する研究	500
2	飯田 恭平(技師) あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室	パレタイズ包装貨物の跳ね上がり再現	500
3	秋川 卓也(准教授) 日本大学 商学部	買い物弱者対策におけるイノベーションとその運用可能性	500
4	竹田 泰典(助教) 山形大学 有機材料システム研究推進本部 有機エレクトロニクス研究センター	低コスト簡易RFタグ駆動を目指した印刷型有機整流回路の開発	500
5	川原 秀夫(教授) 大島商船高等専門学校 商船学科	非定常外気条件を考慮した輸送コンテナ内における熱応答と汗漏れモデルの構築	500
6	本庄 孝光(技術専門職員) 大島商船高等専門学校 技術支援センター	廃食用油を燃料とするコモンレール式ディーゼル車製作と運用試験	500
7	浜崎 章洋(教授) 大阪産業大学 経営学部 商学科	第3次「物流共同化実態調査研究報告書」発刊について	300

#### 1.1.3 研究助成金の送金

助成金の送金は以下のとおり完了した。

【送金】 2018年4月20日 7件 合計金額 3,300,000円

## 1.2 2017年度奨学支援金制度

### 1.2.1 採用件数と給付額

2017年度の奨学支援金制度の新規採択案は、平成30年4月18日に開かれた理事会で承認された。件数と金額の内訳を表3に示す。

表3. 2017年度奨学支援金制度(採用件数および給付額)

プログラム	応募件数	採用件数(名)	給付金額(千円)
奨学支援金制度	49	30	9,000(300/1名)

### 1.2.2 奨学生進学先一覧(大学:14名、短大:2名、専門学校:14名)

目白大学、東京基督教大学、東京理科大学、秋田大学、流通経済大学、文教大学、神奈川県工科大学、淑徳大学、鎌倉女子大学、東京福祉大学、開智国際大学、青山学院大学、日本社会事業大学、十文字学園女子大学、静岡英和学院大学短期大学部、秋草学園短期大学、リハビリテーションカレッジ島根、八王子市立看護専門学校、赤堀製菓専門学校、織田製菓専門学校、専門学校日本ホテルスクール、東京都南多摩看護専門学校、EIKA美容専門学校、道灌山学園保育福祉専門学校、中央動物専門学校、国際自動車・ビューティー専門学校、東京コミュニケーションアート専門学校、品川介護福祉専門学校、中央工学校

### 1.2.3 研究助成金の送金

奨学金の送金は以下のとおり完了した。

【送金】 2018年4月20日 30名 合計金額 9,000,000円

奨学支援金制度パンフレット

### 1.3 2018年度事業予定

#### 1.3.1 助成事業

物流研究ならびに物流に係るセミナー・シンポジウムの開催などへの助成(総額300万円/1件当たり50万円を限度とする)の募集を行う。

予定数:6件

##### 1.3.1.1 日程

応募から採択における日程を以下の表4に示す。

表4. 2018年度研究助成募集日程

	2018年			2019年		
	7~8月	9~10月	11~12月	1~2月	3~4月	5~6月
募集要領の決定	→					
募集		→				
選考				→		
採択候補者の決定				▲		
受領者の確定				▲		

#### 1.3.2 奨学支援金制度

奨学支援金制度(総額900万円/1名当たり30万円を一律で給付)の募集を行う。

予定数:30名

##### 1.3.2.1 日程

応募から採択における日程を以下の表5に示す。

表5. 2018年度奨学支援金制度募集日程

	2018年			2019年		
	7~8月	9~10月	11~12月	1~2月	3~4月	5~6月
募集要領の決定	→					
募集	→	→				
選考			→			
採択候補者の決定			▲			
受領者の確定					▲	

## 2. 情報公開

### 2.1 情報掲出等

#### 2.1.1 ホームページ

定期的なホームページの内容更新は下記表6の通りである。

表6. 2017年度ホームページ内容更新一覧

更新月	更新内容
2017/09	・2017年度 事業計画書および収支予算書掲出
2017/09	・2017年度 物流研究助成の公募開始告知
2017/10	・2016年度 事業報告書掲出
2017/12	・奨学支援金制度開始告知
2018/03	・2017年度 奨学支援金制度公募〆切告知
2018/03	・2017年度 新規採択助成物流研究一覧掲出
2018/04	・「2015年度 物流研究助成 成果報告書」発行告知
2018/04	・物流研究助成事業の実施状況更新

#### 2.1.2 案内書送付

##### ◇研究助成

全国 国立・公立・私立大学への2017年度研究助成公募開始案内を送付。

送付数:387 送付物:公募開始案内・研究助成申請書類一式・研究助成パンフレット

##### ◇奨学支援金制度

関東7都県の児童養護施設・行政窓口等へ奨学支援金制度公募開始案内を送付

送付数:272 送付物:公募開始案内・申請書類一式・奨学支援金制度パンフレット

#### 2.1.3 その他

##### ◇SBSグループ 広報

###### ・リリース配信

2017/10/03 『SBS鎌田財団「平成29年度研究助成公募」を開始』

2017/12/12 『SBS鎌田財団が奨学金給付事業を開始』

###### ・『CSR REPORT 2017』掲載

事業概要・2017年度採択研究一覧

## ◇外部情報サービス

### ・(公財)助成財団センター

刊行物掲出:『助成団体要覧2017』『助成財団 助成金応募ガイド2017』

ウェブ掲出:助成金情報

### ・NOPODAS(非営利法人データベース)／(公財)公益法人協会

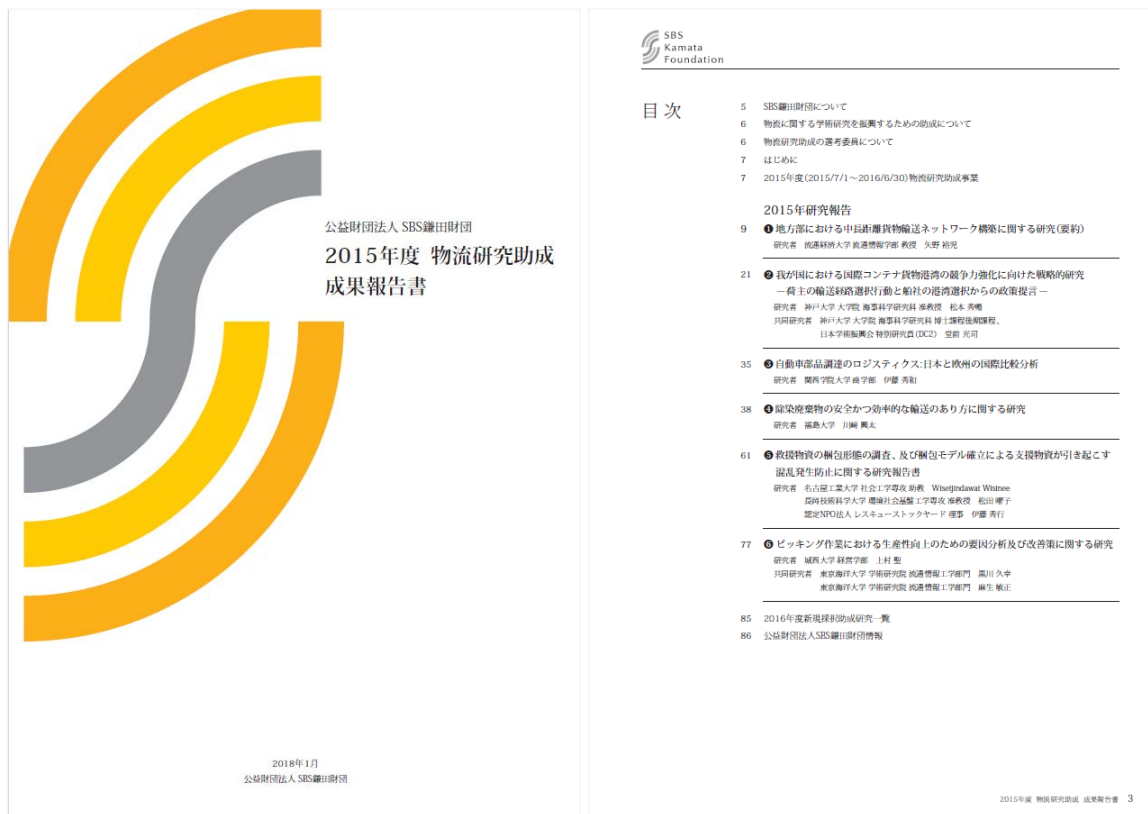
掲出:財団情報および助成金情報

## 2.2 刊行物

### ◇成果報告書

「2015年度 物流研究助成 成果報告書」88P

2015年度助成対象(6研究)の研究報告と2016年度新規採択助成研究一覧等を掲載





## II. 管理・運営

### 1. 理事に関する事項

- ・任期満了に伴う重任(※代表理事再任)

鎌田 正彦 SBSホールディングス株式会社 代表取締役社長 ※

岸野 一夫 株式会社未来塾 代表取締役

尼野 正一 税理士法人誠和コンサルティング 代表社員執行役社長

<決議>

2017/9/29 第一回定時評議員会(理事選任)

2017/9/29 第三回臨時理事会(代表理事選任)

<登記>

2017/10/10 役員変更登記(東京法務局)

### 2. 評議員に関する事項

- ・任期満了に伴う重任

申田 裕治 株式会社ジェーオージェー 専務取締役

時田 宗明 株式会社経済界倶楽部 代表取締役

鈴木 知幸 東京丸の内法律事務所 弁護士

<決議>

2017/9/29 第一回定時評議員会

<登記>

2017/10/10 役員変更登記(東京法務局)

### 3. 監事に関する事項

- ・任期満了に伴う重任

藤浦 宏史 株式会社アガットコンサルティング 代表取締役 公認会計士

<決議>

2017/9/29 第一回定時評議員会

<登記>

2017/10/10 役員変更登記(東京法務局)

### 4. 選考委員に関する事項

奨学支援金制度開始に伴い、新たに3名を委嘱した。

【新任】

池田 幸司 社会福祉法人天使園 理事長

後藤 大介 株式会社アイディアシップ 代表取締役

園田 恵一 元SBSロジコム株式会社 取締役専務執行役員

【現任】

轟岡 征人 SBSロジコム株式会社 取締役常務執行役員営業本部長

市川 隆一 株式会社サプライチェーン経営研究所 代表取締役

豊増 隆弘 ノーウェアアベニュー株式会社 代表取締役

5. 会議に関する事項

理事会

開催日/場所	議事事項	結果
第一回臨時		
2017/8/26 書面	【審議事項】 第1号議案 『定款変更案の承認』の件 第2号議案 『評議員会招集』の件	原案どおり承認可決 原案どおり承認可決
第二回臨時		
2017/9/1 書面	【審議事項】 第1号議案 『修正予算書承認』の件 第2号議案 『変更認定申請書類承認』の件	原案どおり承認可決 原案どおり承認可決
第一回定時		
2017/9/15 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2016年度 事業報告及び計算書類並びに定期提出書類』の件 第2号議案 『定時評議員会招集』の件 第3号議案 『役員改選に伴う候補者』の件 第4号議案 『評議員改選に伴う候補者推薦』の件 【報告事項】 代表理事の職務執行状況の報告	原案どおり承認可決 原案どおり承認可決 原案どおり承認可決 原案どおり承認可決
第三回臨時		
2017/9/29 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『代表理事選定』の件	原案どおり承認可決
第四回臨時		
2017/11/17 書面	【審議事項】 第1号議案 『奨学金給付規程制定』の件 第2号議案 『個人情報保護方針改定』の件	原案どおり承認可決 原案どおり承認可決
第二回定時		
2018/2/27 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2017年度 物流研究助成 助成金支給承認』の件の件	原案どおり承認可決

第三回定時		
2018/4/18 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2017年度 奨学支援金制度 奨学金給付承認』の件	原案どおり承認可決
第四回定時		
2018/06/18 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『平成30年度の事業計画および収支予算ならびに資金調達および設備投資の見込みについての承認』の件 【報告事項】 代表理事の職務執行状況の報告	原案どおり承認可決

## 評議員会

開催日/場所	議事事項	結果
第一回臨時		
2017/7/26 書面	【審議事項】 第1号議案 『定款一部変更』の件	原案どおり承認可決
第一回定時評議員会		
2017/9/29 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2016年度事業報告及び計算書類の承認』の件 第2号議案 『役員選任』の件 第3号議案 『評議員選任』の件 【報告事項】 1) 2017年度(平成29年度)「事業計画」および「収支予算」について 2) 定期提出書類提出について 3) 新規事業について	原案どおり承認可決  原案どおり承認可決  原案どおり承認可決

## 選考委員会

2018/2/15	物流研究助成選考委員会
2018/3/26	奨学支援金制度選考委員会

## 6. 内閣府への届け出等に関する事項

- ・2017/9/8 変更認定申請
  - ・2017/9/29 事業報告等の提出
  - ・2017/12/7 変更認定後の定款及び登記事項証明書等の提出
- ※当該年度の報告は2018/9/28付で事業報告等の提出を行った。

## 7. 寄附に関する事項

2017年度に 寄附金を受けた 財産の額	24,668,536 円	うち個人から	6名	5,000,000 円
		うち法人から	8社	19,668,536 円

### Ⅲ. 会計報告

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 正味財産増減計算書内訳表
4. 財産目録
5. 財務諸表に対する注記
6. 付属明細書

## 貸借対照表

平成 30 年 6 月 30 日 現在

( 単位: 円 )

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,505,268	7,970	1,497,298
流動資産合計	1,505,268	7,970	1,497,298
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	6,308,014	6,308,014	0
基本財産合計	6,308,014	6,308,014	0
(2) 特定資産			
助成・奨学事業積立資産	7,600,463	0	7,600,463
特定資産合計	7,600,463	0	7,600,463
(3) その他固定資産			
固定資産合計	13,908,477	6,308,014	7,600,463
資産合計	15,413,745	6,315,984	9,097,761
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	10,412	2,450	7,962
未払費用	1,468,122	0	1,468,122
流動負債合計	1,478,534	2,450	1,476,084
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,478,534	2,450	1,476,084
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	13,800,463	6,200,000	7,600,463
指定正味財産合計	13,800,463	6,200,000	7,600,463
(うち基本財産への充当額)	(6,200,000)	(6,200,000)	( 0 )
(うち特定財産への充当額)	(7,600,463)	( 0 )	(7,600,463)
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	134,748	113,534	21,214
(うち基本財産への充当額)	(108,014)	(108,014)	( 0 )
(うち特定財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	13,935,211	6,313,534	7,621,677
負債及び正味財産合計	15,413,745	6,315,984	9,097,761

## 正味財産増減計算書

平成 29 年 7 月 1 日 から 平成 30 年 6 月 30 日 まで

( 単位: 円 )

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	68	32	36
基本財産受取利息	68	32	36
受取寄付金	17,068,073	6,378,736	10,689,337
受取寄付金	0	6,378,736	△ 6,378,736
受取寄付金振替額	17,068,073	0	17,068,073
経常収益計	17,068,141	6,378,768	17,068,141
(2) 経常費用			
事業費	15,304,861	5,904,472	9,400,389
給料手当	0	1,920,000	△ 1,920,000
支払助成金	12,300,000	3,374,680	8,925,320
福利厚生費	0	16,851	△ 16,851
会議費	529	10,080	△ 9,551
賃借料	240,835	222,989	17,846
委託費	2,073,600	323,520	1,750,080
支払手数料	12,787	4,752	8,035
交際費	0	29,880	△ 29,880
租税公課	0	1,720	△ 1,720
通信運搬費	4,920	0	4,920
印刷製本費	642,190	0	642,190
諸謝金	30,000	0	30,000
管理費	1,742,066	674,978	1,067,088
給料手当	0	480,000	△ 480,000
福利厚生費	0	4,213	△ 4,213
会議費	9,240	2,520	6,720
賃借料	60,209	55,747	4,462
委託費	1,425,600	80,880	1,344,720
支払手数料	7,517	1,188	6,329
支払負担金	163,400	50,000	113,400
租税公課	0	430	△ 430
諸謝金	73,440	0	73,440
雑費	2,660	0	2,660
経常費用計	17,046,927	6,579,450	10,467,477
評価損益調整前経常増減額	21,214	△ 200,682	221,896
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	21,214	△ 200,682	221,896
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	21,214	△ 200,682	221,896
一般正味財産増減額	21,214	△ 200,682	221,896
一般正味財産期首残高	113,534	314,216	△ 200,682
一般正味財産期末残高	134,748	113,534	21,214
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	24,668,536	3,200,000	21,468,536
受取寄付金	24,668,536	3,200,000	21,468,536
一般正味財産への振替額	△ 17,068,073	0	△ 17,068,073
当期指定正味財産増減額	7,600,463	3,200,000	4,400,463
指定正味財産期首残高	6,200,000	3,000,000	3,200,000
指定正味財産期末残高	13,800,463	6,200,000	7,600,463
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	13,935,211	6,313,534	7,621,677

正味財産増減計算書内訳表

平成 29 年 7 月 1 日 から 平成 30 年 6 月 30 日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業				法人会計	合計
	物流研究助成事業	奨学金給付事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	68	68	0	68
基本財産受取利息	0	0	68	68	0	68
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	7,800,000	6,867,622	14,667,622	2,400,451	17,068,073
受取寄付金振替額	0	7,800,000	6,867,622	14,667,622	2,400,451	17,068,073
雑収益	0	0	0	0	0	0
経常収益計	0	7,800,000	6,867,690	14,667,690	2,400,451	17,068,141
(2) 経常費用						
事業費	3,788,268	9,171,370	2,345,223	15,304,861	0	15,304,861
支払助成金	3,300,000	9,000,000	0	12,300,000	0	12,300,000
会議費	0	0	529	529	0	529
賃借料	0	0	240,835	240,835	0	240,835
委託費	0	0	2,073,600	2,073,600	0	2,073,600
支払手数料	2,268	10,260	259	12,787	0	12,787
通信運搬費	0	4,920	0	4,920	0	4,920
印刷製本費	486,000	156,190	0	642,190	0	642,190
諸謝金	0	0	30,000	30,000	0	30,000
管理費	0	0	0	0	1,742,066	1,742,066
会議費	0	0	0	0	9,240	9,240
賃借料	0	0	0	0	60,209	60,209
委託費	0	0	0	0	1,425,600	1,425,600
支払手数料	0	0	0	0	7,517	7,517
支払負担金	0	0	0	0	163,400	163,400
諸謝金	0	0	0	0	73,440	73,440
雑費	0	0	0	0	2,660	2,660
経常費用計	3,788,268	9,171,370	2,345,223	15,304,861	1,742,066	17,046,927
評価損益調整前経常増減額	△ 3,788,268	△ 1,371,370	4,522,467	△ 637,171	658,385	21,214
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,788,268	△ 1,371,370	4,522,467	△ 637,171	658,385	21,214
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
固定資産売却損	0	0	0	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,151,097	1,371,370	△ 4,522,467	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 637,171	0	0	△ 637,171	658,385	21,214
一般正味財産期首残高	637,171	0	0	637,171	△ 523,637	113,534
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	134,748	134,748
II 指定正味財産増減の部						
受取補助金等	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	7,800,000	14,468,085	22,268,085	2,400,451	24,668,536
受取寄付金	0	7,800,000	14,468,085	22,268,085	2,400,451	24,668,536
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	△ 7,800,000	△ 6,867,622	△ 14,667,622	△ 2,400,451	△ 17,068,073
当期指定正味財産増減額	0	0	7,600,463	7,600,463	0	7,600,463
指定正味財産期首残高	6,200,000	0	0	6,200,000	0	6,200,000
指定正味財産期末残高	6,200,000	0	7,600,463	13,800,463	0	13,800,463
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残高	6,200,000	0	7,600,463	13,800,463	134,748	13,935,211

財 産 目 録

平成 30 年 6 月 30 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金預金	手許現金	運転資金として	37,146
	現金預金	新生銀行 本店	運転資金として	1,468,122
流動資産合計				1,505,268
(固定資産)				
基本財産	普通預金	新生銀行 本店	寄附者の意思により受け入れた資産であり、公益目的保有財産として使用する 寄附者の意思により受け入れた資産であり、公益目的事業の財源として使用する	6,308,014
特定資産	助成・奨学事業積立資産	新生銀行 本店		7,600,463
その他固定資産				
固定資産合計				13,908,477
資産合計				15,413,745
(流動負債)				
	預り金		源泉所得税	10,412
	未払費用		税理士法人誠和コンサルティング 他	1,468,122
流動負債合計				1,478,534
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				1,478,534
正味財産				13,935,211



## 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位:円)

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	6,308,014	0	0	6,308,014
基本財産計	6,308,014	0	0	6,308,014
特定資産				
助成・奨学事業積立資産	0	7,600,463	0	7,600,463
特定資産計	0	7,600,463	0	7,600,463
合 計	6,308,014	7,600,463	0	13,908,477

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位:円)

	当期末残高	内指定正味財産 からの充当額	内一般正味財産 からの充当額	内負債に 対応する額
基本財産				
普通預金	6,308,014	(6,200,000)	(108,014)	—
基本財産計	6,308,014	(6,200,000)	(108,014)	—
特定資産				
助成・奨学事業積立資産	7,600,463	(7,600,463)	(0)	—
特定資産計	7,600,463	(7,600,463)	(0)	—
合 計	13,908,477	(13,800,463)	(108,014)	—

5. 指定正味財産から一般正味財産の振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金の振替額	17,068,073
合 計	17,068,073

## 附属明細書

1. 基本財産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているので作成を省略する。

2. 特定財産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているので作成を省略する。

## IV. 監査報告

### 1. 監査報告書

# 監 査 報 告 書

公益財団法人SBS鎌田財団  
代表理事 鎌田 正彦 様

私監事は、平成29年7月1日から平成30年6月30日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の調査を行いました。

さらに、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等の会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

## 2. 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成30年9月4日

公益財団法人SBS鎌田財団

監事 藤浦 宏史 